

HINO

REPORT

2009年4月1日から2009年9月30日まで



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業活動にご理解、ご支援を賜わりまして、誠にありがとうございます。

当社は「日本の日野から世界のHINOへ」をキーワードに日本市場を固めつつ、世界に展開することを目指しております。本年9月には中国広州で新工場を立ち上げました。この中国の工場で生産される車は、日野にとって初めての海外生産車となります。今後さらに現地調達を拡大し、事業の拡大と収益力の向上を図ってまいります。

さて、この上期は、国内は依然として厳しい状況が続いている一方で、海外は当社の主要市場であるアジア地域で販売が好調に推移し、計画を上回る結果となりました。

このような販売状況に加え、国内外での価格改善の効果が出たこと、仕入先との協業による原価改善、日野グループ挙げての固定費削減が順調に進んだこと等により、営業損益では期首計画に対し、赤字幅は縮小いたしました。上期としては9期振りの営業赤字となりました。

下期につきましては、上期同様、アジアをはじめとする、新興国・資源国においては、確実に経済が回復してきていることから、全体では、期首計画に対して、海外販売台数を上方修正いたしました。

一方、国内市場においては、上期に比べれば、総需要も回復基調にあると言えますが、慎重に見極めをしていきたいと思っております。市場環境が不透明な中でも、お役立ち活動と総合営業活動によりCSを向上させ、お客様との絆をさらに強化するとともに、構造改革を加速し、収益力の向上を図ってまいります。

尚、第2四半期期末配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、無配とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日野自動車株式会社
代表取締役社長 兼 執行役員

白井 芳夫



日本の日野から 世界のHINOへ

中国の合併会社の新工場で 大型トラックを生産開始

2009年9月21日、広州汽車集団股份有限公司との合併会社である広汽日野自動車有限公司(以下、広汽日野)は、中国広東省広州市従化の新工場で、大型トラック「HINO700シリーズ」(日本名「日野プロフィア」)の生産を開始しました。広汽日野は、2007年11月に設立された生産販売会社であり、新工場の従化工場での生産は中国国内での高い部品調達率により、日野として初の「海外生産」となります。

同新工場で生産される「HINO700シリーズ」は優れた環境性能や耐久性など高品質を特長とし、2009年度の販売計画は600台、将来的には年間2万台の販売を目指します。



トラック・バスの生産台数 累計300万台達成

2009年7月3日、日野ブランドのトラック・バス生産台数の累計が300万台を達成いたしました。1946年の生産開始以来、1982年に100万台、1995年には200万台の生産を経て、300万台生産達成に至りました。

今後も、高品質、高性能で信頼性の高いトラック・バスの生産、販売を通じて、「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」という会社の使命を果たしていきます。

環境性能と経済性、 安全性の追求

環境性能、燃費性能に優れたトラックの ラインアップを拡充

2009年8月3日、小型トラック「日野デュトロハイブリッド」の燃費を国内最高*に向上させて、発売。環境性能も前モデルに引き続き“低排出ガス重量車(新長期排出ガス規制値比NOx・PM10%低減)”に認定されており、国内最高レベルの環境性能です。



また、9月2日には、大型トラック「日野プロフィア」ならびに中型トラック「日野レンジャー」に平成27年度燃費基準達成車の設定を拡大し発売しました。

大型トラック「日野プロフィア」シリーズには軽量・低燃費エンジンA09C搭載の建設向け車両としてダンプ、ミキサーの2車種を追加設定しました。

これからも、環境性能と低燃費の向上を目指し、お客様のお役に立てるトラックのラインアップ拡充に邁進していきます。

※ 国土交通省審査値(2009年7月現在)。

最大積載量1.5t超~2t以下の小型トラック(5速MT車)



大型トラック用追突被害軽減ブレーキシステム 「プリクラッシュセーフティ」に 「ドライバーモニター」を追加して発売

2009年5月11日、大型トラック用追突被害軽減ブレーキシステム「プリクラッシュセーフティ」に、ドライバーの顔の向きや眼の開閉状態の検知機能を追加して安全性をさらに高めた先進の安全システム「ドライバーモニター付プリクラッシュセーフティ」を「日野プロフィア」シリーズに設定し、発売しました。

2009年度第2四半期の 連結業績のご報告

ポイント

- 世界的な景気低迷を背景に大幅に売上が減少。
- 価格改善、原価改善、固定費削減等を実施するも、売上減に伴う減益を補えず、四半期純損失を計上。

売上・損益の状況		売上台数	
売上高	3,925億円	国内	10,927台
営業損失	△220億円	海外	23,845台
四半期純損失	△290億円	受託車	38,308台

当期の概況

当第2四半期(6か月)における我が国経済は、生産やアジア地域を中心とした輸出については持ち直しつつありますが、設備投資の減少、雇用情勢の悪化等により、依然として厳しい状況にあります。

当社グループの国内売上台数につきましては、企業収益の悪化等による需要の減少に伴い、トラック・バス総合計で11千台と前年同四半期に比べ9千台(△44.9%)減少いたしました。

海外市場につきましては、世界的な景気低迷を背景に、トラック・バスの売上台数は24千台と前年同四半期に比べ13千台(△35.1%)減少いたしました。

以上により、日野ブランド事業のトラック・バスの総売上台数は35千台となり、前年同四半期に比べ22千台(△38.6%)減少いたしました。

トヨタ自動車株式会社からの受託生産車につきましては、米国向けを中心とした「ハイラックスサーフ」および「FJクルーザー」の生産が減少した結果、総生産台数は38千台と前年同四半期に比べ47千台(△55.1%)減少いたしました。また、海外子会社におけるトヨタブランド車のユニット受託事業の売上高につきましても減少いたしました。

以上、前述の主要な事業すべてにおいて売上が減少したことにより、売上高は392,479百万円と前年同四半期に比べ252,803百万円(△39.2%)の減収となりました。また、損益面におきましては、原価改善、固定費削減等を実施いたしましたが、売上高の大幅な減少による減益を補うことができず、営業損失は22,009百万円、経常損失は25,742百万円、四半期純損失は29,004百万円となり、いずれも前年同四半期に比べ減益となりました。

連結貸借対照表

(百万円)

科目	当第2四半期末 (2009年9月30日)	前期末 (2009年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	298,500	303,498
現金及び預金	25,086	29,725
受取手形及び売掛金	163,309	149,453
商品及び製品	56,155	61,554
仕掛品	21,742	22,649
原材料及び貯蔵品	16,746	16,634
その他	18,523	26,493
貸倒引当金	△3,063	△3,012
固定資産	433,888	451,693
有形固定資産	326,726	347,097
建物及び構築物	95,580	97,139
機械装置及び運搬具	94,802	93,494
土地	90,608	90,659
その他	45,734	65,804
無形固定資産	23,981	26,698
投資その他の資産	83,180	77,896
投資有価証券	68,181	61,874
その他	20,545	21,550
貸倒引当金	△5,546	△5,528
資産合計	732,388	755,192

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(百万円)

科 目	当第2四半期末 (2009年9月30日)	前期末 (2009年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	345,483	407,969
支払手形及び買掛金	129,410	110,272
短期借入金	105,290	121,585
コマーシャル・ペーパー	39,000	79,500
1年内返済予定の長期借入金	21,293	20,762
未払法人税等	1,745	1,725
賞与引当金	3,462	3,786
製品保証引当金	8,117	12,095
その他	37,164	58,241
固定負債	190,575	128,280
長期借入金	109,897	49,822
退職給付引当金	41,387	40,924
その他	39,290	37,533
負債合計	536,058	536,250
(純資産の部)		
株主資本	175,894	205,332
資本金	72,717	72,717
資本剰余金	64,327	64,327
利益剰余金	40,017	69,022
自己株式	△1,168	△735
評価・換算差額等	3,884	△2,551
新株予約権	92	46
少数株主持分	16,459	16,115
純資産合計	196,330	218,942
負債純資産合計	732,388	755,192

連結損益計算書

(百万円)

科 目	当第2四半期 (自2009年4月1日 至2009年9月30日)	前第2四半期 (自2008年4月1日 至2008年9月30日)
売上高	392,479	645,283
売上原価	353,654	561,921
売上総利益	38,825	83,361
販売費及び一般管理費	60,834	75,107
営業利益又は営業損失(△)	△22,009	8,254
営業外収益	2,754	2,733
営業外費用	6,487	3,976
経常利益又は経常損失(△)	△25,742	7,010
特別利益	233	2,307
特別損失	1,290	1,210
税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	△26,799	8,107
法人税等	1,452	3,850
少数株主利益	753	1,257
四半期純利益又は純損失(△)	△29,004	2,999

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科 目	当第2四半期 (自2009年4月1日 至2009年9月30日)	前第2四半期 (自2008年4月1日 至2008年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	18,123	20,840
投資活動による キャッシュ・フロー	△26,468	△25,825
財務活動による キャッシュ・フロー	3,568	11
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△214	△64
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△4,991	△5,038
現金及び現金同等物の 期首残高	29,427	28,710
現金及び現金同等物の 四半期末残高	24,436	23,672

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

会社概要

日野自動車株式会社 HINO MOTORS, LTD.		
創 業	1910年(明治43年)	
設 立	1942年(昭和17年)5月1日	
資 本 金	72,717,284,641円	
主要な事業所 および工場	本社・日野工場	〒191-8660 東京都日野市日野台3丁目1番地1 電話(042)586-5111
	羽村工場	〒205-8660 東京都羽村市緑ヶ丘3丁目1番地1 電話(042)579-0411
	新田工場	〒370-0344 群馬県太田市新田早川町10番地1 電話(0276)56-5111
	田町事務所	〒108-0014 東京都港区芝4丁目11番3号 電話(03)3456-8811
	茨城テストコース	〒311-4613 茨城県常陸大宮市長倉2023番地 電話(0295)55-3122
	北海道芽室 テストコース	〒082-0382 北海道河西郡芽室町雄馬別14線26番地1 電話(0155)66-2511
	日高配車センター	〒350-1234 埼玉県日高市上鹿山689番地1 電話(0429)85-4747
	青梅部品センター	〒198-0025 東京都青梅市末広町1丁目5番1号 電話(0428)32-9911

株式の状況

(2009年9月30日現在)

発行済株式の総数	574,580,850株	
株 主 数	15,633名(前期比261名減)	
大 株 主 (上位10名)	持株数(千株)	出資比率(%)
トヨタ自動車株式会社	287,897	50.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,584	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,746	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	10,031	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	7,200	1.2
東京海上日動火災保険株式会社	6,104	1.0
株式会社竹中工務店	5,562	0.9
株式会社永坂産業	4,255	0.7
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	4,209	0.7
日清紡ホールディングス株式会社	4,209	0.7

(注) 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

取締役・監査役

(2009年9月30日現在)

代表取締役会長	近藤 詔治	* 専務取締役	井上 俊紀	常勤監査役	荻野 明彦
* 代表取締役社長	白井 芳夫	* 専務取締役	藤井 恒彦	常勤監査役	渡 春樹
* 取締役副社長	山本 隆彦	* 専務取締役	笠井 学	監査役	辻井 昭雄
* 取締役副社長	市川 正和	* 専務取締役	岡崎 清英	監査役	石坂 芳男
		* 専務取締役	藤本 慎治	監査役	池淵 浩介
		* 専務取締役	和具 健治		
		* 専務取締役	山本 章正		

(*)は、執行役員を兼務

株主メモ

決算期	3月31日	定時株主総会	毎年6月
株主確定日	期末配当金 3月31日、 中間配当金 9月30日		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
株式に関する手数料	単元未満株式買取手数料 無料		
公告方法	以下の当社ホームページにて電子公告により行います。 http://www.hino.co.jp/j/corporate/ir/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。		
上場取引所	東京、名古屋各証券取引所	証券コード	7205
1単元の株式数	1,000株		
ホームページ	http://www.hino.co.jp/		

株式に関するお手続きの窓口について

◇特別口座に記録された株式^{*1}

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ○特別口座から証券会社等の口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定^{*2} 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-711(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00) ※三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	(手続書類のご請求方法) 電話およびインターネットにより24時間承っております。 ○音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

^{*1} 特別口座に記録された株式をご所有の株主様には、2009年2月に三菱UFJ信託銀行よりお届けのご住所宛に株式数等のご案内をお送りしております。

^{*2} 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選べません。

◇証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-711(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

日野自動車株式会社



このレポートは、再生紙、植物性大豆油インキを使用し、ISO14001 取得工場で印刷しています。